

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.3)

仙台フィルハーモニー管弦楽団 プレミアム・コンサート in 仙台



ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎／東風慈音ノ章

W.A. モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216

L.v. ベートーヴェン／交響曲 第7番 イ長調 Op.92



垣内 悠希(指揮)



郷古 廉(ヴァイオリン)



朝岡 聡(司会)

2023.12/24 [日] 電力ホール

16:00 開演(15:15 開場)

〒980-8534 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目7-1 電力ビル7階

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 | 有料配信オンラインコンサートチケット 500円

公演チケットお取り扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:251-211]

ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:22163]

藤崎

河北チケットセンター 022-211-1189 (電話受付のみ。受付:平日10:00~14:00)

オンラインコンサートチケットお取り扱い

カーテンコール <https://curtaincall.media> (購入方法についてはWEBサイトをご覧ください。)

有料配信のお知らせ

クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限定のアーカイブ配信も実施します。

アーカイブ配信

2023年12月25日(月)15:00~12月31日(日)23:59

公演内容に関するお問い合わせ:河北アドセンター 080-3869-2128 (受付:平日10:00~17:00)

視聴方法に関するお問い合わせ:カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>



配信サイトはこちら

主催:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 特別協賛:ローム株式会社 協賛:ラピスセミコンダクタ株式会社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年~2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより広げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催いたします。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra (管弦楽)

仙台フィルハーモニー管弦楽団は、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ・飯守泰次郎常任指揮者らのもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2023年度に高関健が常任指揮者に就任、創立50周年を迎えさらに充実した活動を展開している。2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届ける活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの定期演奏会のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。



垣内 悠希 Yuki Kakiuchi (指揮)

ローム ミュージック フレンズ
<2008、2009、2010年度奨学生>

2011年ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝して国際的注目を集める。これまで、フランス国立ポルドー＝アキテヌ管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンスター交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ウィーン室内管弦楽団などを指揮。国内では2012年に東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮して東京デビュー、「鋭敏な色彩感覚の反映された名演」と評された。その後も全国各地のオーケストラに客演を重ねている。2013年小澤征爾氏の推挙を受けて小澤征爾音楽塾オーケストラを指揮、好評を博した。2023年春のローム ミュージック フェスティバル「セビリヤの理髪師」×「フィガロの結婚」(ハイライト)での名演も記憶に新しい。東京生まれ。6歳よりピアノを、14歳より指揮を学ぶ。東京藝術大学、ウィーン国立音楽大学卒業。小澤征爾、佐藤功太郎、レオポルト・ハーガー、ヨルマ・パヌラ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アツェル、イザーク・カラブチエフスキー、湯浅勇治の各氏に師事。2016年より3年間札幌交響楽団指揮者を務めた。



郷古 廉 Sunao Goko (ヴァイオリン)

ローム ミュージック フレンズ
<2010、2011、2012年度奨学生>

2013年8月ティボール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝並びに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとり。1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2007年12月のデビュー以来、各地のオーケストラと共演。共演指揮者にはゲルハルト・ボッセ、フランソワ・グザヴィエ・ロト、井上道義、川瀬賢太郎各氏などがいる。2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。ジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。NHK交響楽団ゲスト・アシスタント・コンサートマスターを経て、2023年4月よりNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任。



朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)

横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロッシーニ協会副会長。公益財団法人 日本音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。



岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

ラピスセミコンダクタ株式会社

ラピスセミコンダクタ株式会社は、2008年に京都に本社を置く半導体・電子部品メーカー、ロームグループの一員となり、徹底したものづくりへのこだわりを持って、世界中のお客様に品質と信頼性に優れた半導体を提供しています。宮城県と宮崎県に工場を有し、宮城県大衡村にある宮城工場では、1988年の操業開始から様々なIC(大規模集積回路)を生産してきました。現在は東日本大震災の経験を活かして災害に強い生産体制を整えており、ロームグループの主力工場の1つとして、ステークホルダーの皆様の期待に応え、安心して暮らせる社会の実現に取り組むとともに、ロームグループ環境ビジョン2050に基づき社会の持続的成長に寄与する企業活動を推進しています。これからも、ロームグループが掲げる企業目的の通り、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献してまいります。

